

ジュニアワールドカップメドリング大会報告書

派遣期間：2014年1月14日～1月20日

派遣場所：オーストリア・メドリング市

大会期間：2014年1月18日

大会会場：Sporthalle Modling

滞在先：Hotel Babenbergerhof

チーム日程

1月14日 出発、チーム現地到着

1月15日 現地調整（9時～12時）

1月16日 現地調整（9時～12時）

1月17日 現地調整（9時～12時）

1月18日 大会

1月19日 現地出発

1月20日 帰国

参加者（選手）

松山恭助（東亜学園高校）

敷根崇裕（東亜学園高校）

西藤俊哉（帝京高校）

大石利樹（法政大学）

鈴木健太（はしまモア）

三好修平（早稲田大学）

（コーチ）

青木雄介（FJE）

大会結果【個人戦】 27 カ国 115 名出場

最終順位

優勝 INGARGIOLA (ITA)

2位 LOSATELLI (ITA)

3位 松山恭助 (日本)

3位 CIUTI (ITA)

6位 西藤俊哉

10位 鈴木健太

13位 大石利樹

17位 敷根崇裕

69位 三好修平

個人戦予選プール

松山:6勝

敷根:6勝

西藤:5勝(6名プール)

大石:5勝1敗

鈴木:5勝1敗

三好:4勝2敗

T128

三好4-15 VEITENHEIMER(GER)

T64

松山15-7 SITOVS(LAT)

敷根15-5 GOMEZ(CAN)

西藤15-5 STIENHENSER(GER)

大石15-9 PFANN(NED)

鈴木15-13 DAL SANTO(ITA)

T32

松山 15-11 MACI(ITA)

敷根 8-15 KHAMZIN(RUS)

西藤 15-10BERTOLAZZI(ITA)

大石 15-4 REICHETZER(AUT)

鈴木 15-8 BIANCHI(ITA)

T16

松山 15-8 鈴木

西藤 15-9 大石

準々決勝

松山 15-10 KHAMZIN(RUS)

西藤 12-15 INGARGIOLA(ITA)

準決勝

松山 3-15 INGARGIOLA(ITA)

【大会報告】

14日に現地入りし、翌15日から3日間メドリングの総合スポーツ強化施設 Sudstadtzentrum にてオーストリアナショナルチームのメンバー等の選手達と調整を行った。

大会同日にフランスでシニアワールドカップが行われた為、ジュニアランキング1位選手や数名の選手がそちらに参加していたものの、27カ国（欧州各国から南米まで）115名の選手が出場した。

今シーズン3戦目にして、念願のメダルを獲得出来、今回の日本選手の活躍には満足している。

来月のワールドカップ最終戦、その後の世界選手権大会に向けて一層の強化を図っていきたい。

文責 男子フルーレコーチ 青木雄介



個人戦 3位に入賞した松山恭助



地元オーストリア選手との練習